

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	勤労青年センター運営事業	担当課	教育課
事業内容(簡潔に)	利用者の教養、趣味又は健康維持のための施設を提供する事業		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	魅力と活力に満ちた豊かなまちづくり
	政策	豊かさが実感できる働きやすいまちづくり
	施策	勤労者福祉の充実
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	勤労青少年に対し、余暇活動の場及び仲間づくりの場を確保し、その健全な育成を図る。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 勤労者を中心とする利用者の自主的な社会活動を支援し、福利厚生の実現を図るため、利便性の高い施設となるよう整備・管理に努める。 NPO 法人韮崎スポーツクラブ管理委託
事業の対象	峡北圏域の勤労青年その他市民及び近隣市町村の住民

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財源内訳	A 事業費 (千円)	6,573	6,445	6,702
	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)	339	217	49
	一般財源	6,234	6,228	6,653
B 担当職員数(職員E) (人)		0.2	0.2	0.2
C 人件費(平均人件費×E) (千円)		1,372	1,343	1,315
D 総事業費(A+C) (千円)		7,945	7,788	8,017
主な事業費用の説明	事業費は、需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費)、委託料(管理、保守)、使用料及び賃借料(放送受信料、借上料)。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 開館日数(日)		316	293	134
	2				
	3				
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない			
上記活動指標と妥当性の説明	1	<ul style="list-style-type: none"> 本施設の目的を達成するためには、必要な業務(令和2年3月から5月まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館、その後も、施設の感染防止ガイドラインに基づき、中北地域を生活圏とする感染者の発生により随時、閉館措置を行う) 			
	2				
	3				

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			30年度	元年度	2年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	延べ利用者数(人)	年間利用者数の集計	3,034	2,442	424
	2	延べ利用団体数(件)	年間利用件数(利用団体数)の集計	609	500	125
	3					
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、まちづくり指標であるため、妥当である。 ・利用者数は、年々減少傾向にある。(令和2年度は臨時休館や施設の感染防止ガイドラインに基づく閉鎖、開館日でも三密回避のための利用人数制限の影響もあり激減した) 				
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用団体数は、年々減少傾向にある。(令和2年度は臨時休館や施設の感染防止ガイドラインに基づく閉鎖のための利用人数制限の影響もあり激減した) 				
	3					

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明) 利用者の向上を図るため、HP等の媒体で施設利用の周知に取り組む。 また、利用者数の向上を図るため、同様な目的で設置されている施設の活用事例等の調査・研究に取り組む。			
過去の改善経過	改善の経過	利用者の向上を図るため、HP等の媒体で施設利用の周知に取り組んだ。		
	直近の評価経過	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	平成29年度	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
改善結果	利用者数の向上をさせるため、HP等の媒体で施設利用の周知に取り組む。 また、利用者数の向上を図るため、同様な目的で設置されている、施設の事例等の調査・研究に取り組む。			
課長所見	新型コロナウイルス感染症の影響により、教養室・調理実習室・会議室は年間を通しての利用者が皆無となるなど延べ利用者数は激減したが、コロナ禍以前から、全ての部屋において利用者の減少傾向は続いている。 同様の機能を有する市民交流センターや韮崎文化ホールと比べ、立地条件など利用のし易さや施設の老朽化を考慮すればやむを得ないものと考えるが、隣接するウッドジム穂坂及びグリーンフィールド穂坂との一体的な活用など利用率向上に向けた広報の強化、周知に努めていく。			